

第三十六回 帝國議會 貴族院議事速記錄第八號

| | | |
|---|-----------------------------------|---|
| 議事日程 第八號 大正四年六月五日 | 午前十時四分開議 | 大正四年六月五日(土曜日) |
| 第一 大正四年度歲入歲出總豫算追加案(第三號)審查期限ヲ定ムルノ件 | 第二 大正四年度歲入歲出總豫算追加案(第四號)審查期限ヲ定ムルノ件 | 第三 豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第二號)審查期限ヲ定ムルノ件 |
| 第四 無盡業法案(政府提出、衆議院送付) | 第五 賦蓄銀行條例中改正法律案(政府提出、衆議院送付) | 第六 營業稅法中改正法律案(政府提出、衆議院送付) |
| 第七 染料醫藥品製造獎勵法案(政府提出、衆議院送付) | 第八 大正四年勅令第十一號(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付) | 第九 鐵道敷設法中改正法律案(政府提出、衆議院送付) |
| 第十 明治三十三年法律第五十號中改正法律案(政府提出、衆議院送付) | 第十一 議院法中改正法律案(衆議院提出) | 第十二 軍人恩給法規中改正ノ請願(文書表第一號乃至百十九號) |
| 第十三 軍人恩給法規中改正ノ請願(文書表第一號乃至第五十三號、第五十五號乃至第六十九號、第七十三號乃至第七十八號、第八十七號、第一百十三號乃至第一百九號) | 第十四 「成瀬書記官朗讀」 | 第十五 軍人恩給法規中改正ノ請願(文書表第一號乃至第七十七號、第七十號乃至第七十二號、第七十九號) |
| 第十六 同日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府提出案ハ即日之ヲ衆議院ニ送付セリ 無線電信法案 | 第十七 法人ノ役員處罰ニ關スル法律案 | 第十八 同日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府提出案ハ即日裁可ヲ奏請シ又可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ 河川法中改正法律案 |
| 第十九 貴族院議事速記錄第八號 大正四年六月五日 議長ノ報告 | 第二十 神奈川縣中郡金目村ニ郵便電信局設置ノ請願 | 第二十一 軍人恩給法規中改正ノ請願(文書表第五十四號、第百二十號) |
| 第二十二 渡良瀬川改修年度割繩上ノ請願 | 第二十三 渡良瀬川水源地整理ニ關スル請願 | 第二十四 軍人恩給法規中改正ノ請願(文書表第九十二號) |
| 第二十五 北海道富良野原野開發ニ關スル請願 | 第二十六 新潟地方裁判所長岡支部裁判事務復舊ノ請願 | 第二十七 借地權救濟ニ關スル請願 |
| 第二十八 小學校教員俸給國庫支辨ノ請願 | 第二十九 山陰鐵道中濱田線並津和野線速成ノ請願 | 第三十 権太漁業許可ニ關スル請願 |
| 第三十一 利根渡良瀬兩川改修工事速成ノ請願 | 第三十二 | 第三十三 |

號、第八十八號乃至第九十一號、第百九號乃至第一百十二號)

第十四

千曲川治水工事施行ノ請願

第十五

私立學校令第五條改正ニ關スル請願

第十六

脇町區裁判所管内登記所設置ノ請願

第十七

倭姫命奉祀ノ請願

第十八

大湊鐵道速成ノ請願

第十九

實用新案權存續期間延長ノ請願

第二十

神奈川縣中郡金目村ニ郵便電信局設置ノ請願

第二十一

軍人恩給法規中改正ノ請願(文書表第五十四號、第百二十號)

第二十二

渡良瀬川改修年度割繩上ノ請願

第二十三

渡良瀬川水源地整理ニ關スル請願

第二十四

軍人恩給法規中改正ノ請願(文書表第九十二號)

第二十五

北海道富良野原野開發ニ關スル請願

第二十六

新潟地方裁判所長岡支部裁判事務復舊ノ請願

第二十七

借地權救濟ニ關スル請願

第二十八

小學校教員俸給國庫支辨ノ請願

第二十九

山陰鐵道中濱田線並津和野線速成ノ請願

第三十

權太漁業許可ニ關スル請願

第三十一

利根渡良瀬兩川改修工事速成ノ請願

第三十二

第三十三

第三十四

第三十五

第三十六

第三十七

第三十八

第三十九

第三二十

第三十一

第三十二

第三十三

第三十四

第三十五

第三十六

第三十七

第三十八

第三十九

第三二十

第三十一

第三十二

第三十三

第三十四

第三十五

第三十六

第三十七

第三十八

第三十九

第三二十

第三十一

第三十二

第三十三

第三十四

第三十五

第三十六

第三十七

第三十八

第三十九

第三二十

第三十一

第三十二

第三十三

第三十四

第三十五

第三十六

第三十七

第三十八

第三十九

第三二十

第三十一

第三十二

第三十三

第三十四

第三十五

第三十六

第三十七

第三十八

第三十九

第三二十

第三十一

第三十二

第三十三

第三十四

第三十五

第三十六

第三十七

第三十八

第三十九

第三二十

第三十一

第三十二

第三十三

第三十四

第三十五

第三十六

第三十七

第三十八

第三十九

第三二十

第三十一

第三十二

第三十三

第三十四

第三十五

第三十六

第三十七

第三十八

第三十九

第三二十

第三十一

第三十二

第三十三

第三十四

第三十五

第三十六

第三十七

第三十八

第三十九

第三二十

第三十一

第三十二

第三十三

第三十四

第三十五

第三十六

第三十七

第三十八

第三十九

第三二十

第三十一

第三十二

第三十三

第三十四

第三十五

第三十六

第三十七

第三十八

第三十九

第三二十

第三十一

第三十二

第三十三

第三十四

第三十五

第三十六

第三十七

第三十八

第三十九

第三二十

第三十一

第三十二

第三十三

第三十四

第三十五

第三十六

第三十七

第三十八

第三十九

第三二十

第三十一

第三十二

第三十三

第三十四

第三十五

第三十六

第三十七

第三十八

第三十九

第三二十

第三十一

第三十二

第三十三

第三十四

第三十五

第三十六

第三十七

第三十八

第三十九

第三二十

第三十一

第三十二

第三十三

第三十四

第三十五

第三十六

第三十七

第三十八

第三十九

第三二十

第三十一

第三十二

第三十三

第三十四

第三十五

第三十六

第三十七

第三十八

第三十九

第三二十

第三十一

第三十二

第三十三

第三十四

第三十五

第三十六

第三十七

第三十八

第三十九

第三二十

第三十一

第三十二

第三十三

第三十四

第三十五

第三十六

第三十七

第三十八

第三十九

第三二十

第三十一

第三十二

第三十三

第三十四

第三十五

第三十六

第三十七

第三十八

第三十九

第三二十

第三十一

第三十二

第三十三

第三十四

第三十五

第三十六

第三十七

第三十八

第三十九

第三二十

第三十一

第三十二

第三十三

第三十四

第三十五

第三十六

第三十七

第三十八

第三十九

第三二十

</

鐵道敷設法中改正法律案特別委員會
委員長 公爵二條 基弘君 副委員長 古市公威君

明治三十三年法律第五十號中改正法律案特別委員會
大正四年勅令第十一號(承諾ヲ求ムル件)特別委員會
委員長 荒川義太郎君 副委員長 男爵北島齊孝君

同日特別委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ
鐵道敷設法中改正法律案可決報告書

明治三十三年法律第五十號中改正法律案可決報告書
大正四年勅令第十一號(承諾ヲ求ムル件)可決報告書

同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ
大正四年度歲入歲出總豫算追加案(第三號)

大正四年度歲入歲出總豫算追加案(第四號)
豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件
無盡業法案

貯蓄銀行條例中改正法律案
營業稅法中改正法律案

染料醫藥品製造獎勵法案

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス、議事日程第一、大正四年度歲入歲出總豫算追加案第三號、審査期限ヲ定ムルノ件、第二、大正四年度歲入歲出總豫算追加案第四號、審査期限ヲ定ムルノ件、第三、豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件、追第一號、審査期限ヲ定ムルノ件、大藏大臣若槻禮次郎君

〔左ノ送付文ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス以下之ニ倣フ〕
(第三號)大正四年度歲入歲出總豫算追加案

右本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正四年六月四日

貴族院議長公爵德川家達殿
右本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
大正四年六月四日

衆議院議長島田三郎

貴族院議長公爵德川家達殿

〔國務大臣若槻禮次郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(若槻禮次郎君) 唯今日程ニ載ツテ居リマス三案ニ付テ一言シタ

イト思ヒマス、大正四年度歲入歲出總豫算追加案第三號ニ計上シテアリマス所ノ歲出ハ總額ガ二百九十五万百九十九圓デアリマシテ、其重ナルモノヲ舉

ゲテ見マスレバ、本年度ニ於テハ既ニ第二豫備費ガ拂切リニナリマシテ、今後豫算外ニ生ズル必要ナル經費ガアリマシテモ是ガ財源ニ充ツベキ豫備費ガ

ナイコトニナリマシタカラ、本年度ノ第二豫備金ニ二百万圓ヲ追加スルコトニシタノデアリマス、大正三年ノ臨時事件ノ爲ニ功勞ノアッタ者ニ金鷲勳章

ヲ授ケラルベキコトニナツテ居リマス、之ニ屬スル年金ヲ支給スル必要ガアリマシテ、二十八万千七百八十六圓ヲ恩給年金ノ項ニ追加スル必要ガ生ジテ

參ツタノデアリマス、又別途提案ニ係ツテ居ル染料醫藥品製造獎勵法ノ制定ニ伴ヒマシテ是ガ監督ニ關スル經費ヲ要スル外、製鐵所ニ於テ「ベンゾール」及

「トリオール」ノ製造ヲ開始イタシマス爲ニ設備費トシテ五十七萬餘圓要シマス、製鐵所擴張費ニ是ガ追加イタシマスルシ、其他大阪敦賀ニ於ケル海港檢疫

ニ關シテ必要ナル經費ヲ要求シタノデアリマス、次ニ大正四年度歲入歲出總豫算第四號ニ計上シテアリマス所ノ歲出ハ府縣債ノ利子補給ノ金額デアリマシテ、是ガ二十八万八千百六十五圓デアリマス、昨年中ニ起リマシタ群馬外七

貴族院議長公爵德川家達殿

衆議院議長島田三郎

經畫デアリマス、豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件追第二

號ハ、唯今説明申シマシタ群馬外七縣下ニ於ケル災害土木費借入金ニ對シテ

國庫カラ利子ノ全部又ハ一部ヲ補給スルガ爲ニ、本年度ヨリ大正十九年度マ

デ十六箇年度ニ亘ツテ之ガ契約ヲ締結スルコトヲ必要ト致シマスノデ、之ニ

關シテ議會ノ協賛ヲ求メル次第デアリマス、以上諸案ハ孰レモ緊急已ムベカ

ラザルモノデアリマスカラ、御審議ノ上速ニ御協賛アラムコトヲ希望イタシ

マス

○男爵武井守正君 豫算ノ分科會ヲ開キタウゴザイマスカラ、是ヨリ退席ヲ

致シタウゴザイマス

○議長(公爵德川家達君) 武井男爵ノ退席ノ要求ハ、許可ヲ致シテ御異存ア

リマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○男爵吉川重吉君 本日ノ議事日程ニ掲ゲテアリマス第一ヨリ第三ニ至ル審
查期限ヲ定ムルノ件ハ委員會ニ於キマシテ審査結了次第、本會ニ御報告イタ
シタイト思ヒマス、ドウゾ御賛成ヲ願ヒマス

○男爵石黒忠惠君 賛成

○議長(公爵德川家達君) 吉川男爵ノ動議ニ御異存ハゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第四、無盡業法案、政府提出、衆議院送
付、第一讀會、通牒文ノ朗讀ハ總テ省略シテ御異存ゴザイマセヌカ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス
「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス
之ニ倣フ

無盡業法案

右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付
候也

大正四年六月四日

貴族院議長公爵德川家達殿

衆議院議長島田三郎

〔小字ハ衆議院ノ修正、一ハ同削除ノ符號以下之ニ倣フ〕

無盡業法

第一條 本法ニ於テ無盡ト稱スルハ一定ノ口數ト給付金額トヲ定期ニ

掛金ヲ拂込マシメ一口毎ニ抽籤入札其ノ他類似ノ方法ニ依リ掛金者ニ對
シ金錢ノ給付ヲ爲スヲ謂フ無盡類似ノ方法ニ依リ金錢又ハ有價證券ノ給

付ヲ爲スモノ亦同シ但シ賭博又ハ富籤ニ類似スルモノハ此ノ限ニ在ラズ

第二條 無盡ノ營業ハ主務大臣ノ免許ヲ受クルニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ
得ス

營業トシテ無盡ノ管理ヲ爲スハ之ヲ無盡業ト看做ス

第三條 無盡業ノ免許ヲ受ケムトスルトキハ資本金額及營業所ヲ定メ主務

大臣ニ申請スヘシ

無盡業ヲ營ム會社ノ資本又ハ財產ヲ目的トスル出資ノ總額ハ三萬圓其ノ
金錢ヲ以テスル拂込金額ハ一萬五千圓ヲ下ルコトヲ得ス

第一項ノ申請ヲ爲スニハ申請書ニ事業方法ヲ記載シタル書面及無盡契約
約款ヲ添附シ會社ニ在リテハ尙定款ヲ添附スヘシ

第四條 無盡業ヲ營ム會社ハ其ノ商號中ニ無盡ナル文字ヲ用ウヘシ
會社ニ非サル無盡業者ハ其ノ營業ヲ表示スル名稱ヲ附シ其ノ名稱中ニ無

盡ナル文字ヲ用ウヘシ

無盡業者ニ非サルモノハ其ノ商號又ハ營業ヲ表示スル名稱中ニ無盡ナル
文字ヲ用ウルコトヲ得ス

第五條 無盡業ヲ營ム會社ハ他ノ事業ヲ兼營スルコトヲ得ス

會社ニ非サル無盡業者カ他ノ事業ヲ兼營セムトスルトキハ主務大臣ノ認
許ヲ受クヘシ

第六條 無盡業ノ營業區域ハ道府縣ノ區域内ニ於テ之ヲ定メ會社ニ在リテ
ハ定款中ニ其ノ他ノ者ニ在リテハ事業方法書中ニ之ヲ記載スヘシ

無盡業者ハ其ノ營業區域ヲ超エテ營業所若ハ代理店ヲ設置シ又ハ勸誘員若ハ募集員ヲ派スルコ
トヲ得ス但シ營業區域外ノ者ヨリ申込アル場合ニ於テ之ト取引チ爲スコトヲ妨ケス

第七條 無盡業ヲ營ム會社ノ合併ハ主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其
ノ效力ヲ生セス

第八條 無盡業者カ資本金額、營業所、事業方法又ハ無盡契約約款ヲ變更セムトスルトキハ主務大臣ノ認可ヲ受クヘシ會社カ定款ヲ變更セムトスルトキ亦同シ

主務大臣ハ必要ト認ムルトキハ事業方法又ハ無盡契約約款ノ變更ヲ命スルコトヲ得

第九條 無盡業者ハ左ノ方法ニ依ルノ外其ノ營業上ノ資金ヲ運用スルコトヲ得ス

一 國債證券、地方債證券其ノ他特別ノ法令ニ依リ設立シタル會社ノ債券又ハ株券ノ買入

二 前號ノ有價證券ヲ擔保トスル貸付
三 掛^シ者ニ對シ既ニ拂込ミタル掛金額ヲ限度トスル貸付

四 銀行ヘノ預ケ金又ハ郵便貯金

第十條 無盡業ヲ營ム株式會社カ會社財產ヲ以テ其ノ債務ヲ完濟スルコト能ハサルニ至リタルトキハ無盡契約ニ基ク會社ノ債務ニ付各取締役ハ連

帶シテ其ノ辨償ノ責ニ任ス但シ取締役カ任務ヲ怠ラサリシコトヲ證明シタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ責任ハ取締役カ退任ノ登記ヲ爲シタル後二年間仍存續ス

第十一條 無盡業者ハ何人ノ名義ヲ以テスルヲ問ハス自己ノ計算ニ於テ其

ノ經營スル無盡ニ加入スルコトヲ得ス
會社ニ非シテ無盡ノ管理ヲ爲ス無盡業者ハ主務大臣ノ認許ヲ受ケタル場合ニ限リ其ノ管理スル無盡ニ加入スルコトヲ得

第十二條 無盡業ヲ營ム會社ノ業務ヲ執行スル社員、取締役、監查役及使用人ハ何人ノ名義ヲ以テスルヲ問ハス自己ノ計算ニ於テ會社ト無盡契約ヲ爲シ又ハ會社ノ管理スル無盡ニ加入スルコトヲ得ス

前項ノ規定ハ會社ニ非サル無盡業者ノ使用人ニ付之ヲ準用ス

第十三條 無盡業者ハ無盡ノ缺口又ハ掛金ノ拂込ヲ爲サル者アル場合ト雖第一回ノ抽籤入札ノ後ハ給付金額ヲ減少シ又ハ掛金額ヲ増加スルコトヲ得ス

第十四條 無盡ノ管理ヲ爲ス無盡業者ハ其ノ管理スル無盡ノ掛金ノ拂込ナキ場合ニ於テ掛金者ニ代リ掛金ノ拂込ヲ爲ス責ニ任ス

第十五條 無盡ノ管理ヲ爲ス無盡業者ハ其ノ管理スル無盡ノ加入者ニ代リ

掛金ノ拂込及給付金ノ支拂ニ關シ一切ノ裁判上又ハ裁判外ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

ハ被告ト爲ルコトヲ得

前項ノ訴ニ於テ言渡シタル判決ハ無盡ノ加入者ニ對シテモ其ノ效力ヲ有ス但シ各加入者ハ拂込ヲ了セサル掛金額ヲ超エテ執行ヲ受クルコトナシ

第十六條 無盡業者ハ毎半年事業ノ報告書ヲ作リ主務大臣ニ提出スヘシ第十七條 無盡業者ハ毎半年ノ貸借對照表ヲ作リ新聞紙又ハ事業方法書ニ定メタル方法ニ依リ之ヲ公告スヘシ

第十八條 無盡業者ハ各無盡ニ付抽籤入札ノ都度其ノ收支ノ計算ヲ帳簿ニ記載シ次回ノ抽籤入札ノ前日迄ニ之ヲ營業所ニ備へ置クヘシ

第十九條 掛金者ハ無盡業者ニ對シ營業時間内何時ニテモ前半年末貸借對照表^(ノ)閲覽ヲ請求シ又ハ其ノ加入シタル無盡ノ掛金者五分ノ以上ノ同意ヲ以テ

照表^(ノ)及前條ノ帳簿中其ノ加入シタル無盡ニ關スル部分ノ閲覽ヲ請求スルコトヲ得

第二十條 無盡業ヲ營ム會社ハ資本又ハ出資ノ總額ニ達スル迄ハ利益ヲ配當スル毎ニ準備金トシテ其ノ利益ノ十分ノ一以上ヲ積立ツヘシ

第二十一條 主務大臣ハ何時ニテモ無盡業者ヲシテ其ノ事業報告ヲ爲サシメ又ハ業務及財產ノ狀況ヲ検査スルコトヲ得

第二十二條 主務大臣ハ無盡業者ノ業務又ハ財產ノ狀況ニ依リ掛金者ノ利益ヲ保護スル爲必要ト認ムルトキハ其ノ事業方法ノ變更又ハ事業ノ停止ヲ命シ其ノ他必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

無盡業者カ法令、定款又ハ主務大臣ノ命令ニ違反シ其ノ他公益ヲ害スヘキ行爲ヲ爲シタルトキハ主務大臣ハ事業ノ停止若ハ役員ノ改任ヲ命シ又ハ免許ヲ取消スコトヲ得

第二十三條 主務大臣ノ免許ヲ受ケスシテ無盡業ヲ營ミタル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十四條 左ノ場合ニ於テハ會社ニ非サル無盡業者又ハ無盡業ヲ營ム會社ノ業務ヲ執行スル社員、取締役、監查役ヲ十圓以上千圓以下ノ過料ニ處ス

一 第五條、第八條第一項、第九條、第十一條、第十三條、第十六條乃至第十八條ノ規定ニ違反シタルトキ

二 第六條ノ規定ニ依リ定メタル營業區域外ニ於テ營業ヲ爲シタルトキ
三 第八條第二項又ハ第二十二條ノ規定ニ依リ主務大臣ノ爲シタル命令
ニ違反シタルトキ

四 正當ノ理由ナクシテ第十九條ノ閱覽ノ請求ヲ拒ミタルトキ

五 第二十一條ノ規定ニ依ル報告ヲ爲サス又ハ検査ヲ妨ケタルトキ

第二十五條 第十二條ノ規定ニ違反シ無盡業者ト無盡契約ヲ爲シタル會社

ノ業務ヲ執行スル社員、取締役、監査役若ハ使用人又ハ會社ニ非サル無

盡業者ノ使用人ハ十圓以上千圓以下ノ過料ニ處ス

無盡業者前項ノ無盡契約ヲ爲シタルトキハ會社ニ非サル無盡業者又ハ會

社ノ業務ヲ執行スル社員、取締役、監査役ヲ十圓以上千圓以下ノ過料ニ

處ス

第二十六條 第二十條ノ規定ニ違反シタルトキハ會社ノ業務ヲ執行スル社

員、取締役、監査役ヲ十圓以上千圓以下ノ過料ニ處ス

第二十七條 第四條第三項ノ規定ニ違反シタル者ハ五圓以上五十圓以下ノ

過料ニ處ス

第二十八條 非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ本法ニ定

メタル過料ニ之ヲ準用ス

第二十九條 本法中主務大臣ノ職權ニ屬スル事項ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ

地方長官ヲシテ之ヲ行ハシムルコトヲ得

附 則

第三十條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第三十一條 本法施行ノ際現ニ無盡業ヲ營ム者ハ本法施行前ニ爲シタル無

盡契約ノ完了スル迄仍其ノ契約ニ關スル業務ニ限り之ヲ繼續スルコトヲ

得

第三十二條 本法施行ノ際迄六月以上引續キ他ノ事業ト共ニ無盡業ヲ營ム

二十四條及第二十八條ノ規定ヲ準用ス

第三十三條 本法施行ノ際迄六月以上引續キ二箇以上ノ道府縣ニ亘リ無盡業ヲ得

業ヲ營ム者カ無盡業ノ免許ヲ申請シ之ヲ免許スル場合ニ於テ主務大臣ハ其ノ免許ト共ニ五年内ノ期間ヲ定メ其ノ營業区域外ニ於ケル營業ノ繼續ヲ認許スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ主務大臣ノ認許ヲ受ケ其ノ營業區域外ニ於テ爲シタル無盡契約ニ關シテハ無盡業者ハ認許期間満了後其ノ契約ノ完了スル迄仍其ノ契約ニ關スル業務ニ限り之ヲ繼續スルコトヲ得

第三十四條 本法施行ノ際迄六月以上引續キ無盡業ヲ營ム會社カ無盡業ノ免許ヲ申請スル場合ニ於テハ其ノ資本又ハ出資ノ金錢ヲ以テスル拂込金額ニ付第三條ノ規定ヲ適用セス

〔國務大臣若槻禮次郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(若槻禮次郎君) 近頃無盡講又ハ賴母子講ニ類似シタル方法ヲ以テ、金錢ノ融通ヲ致ス營業者ガ大變ニ増加イタシマシテ、最近ノ報告ニ依ツテ見マスト其營業者ノ數ガ八百三十一デアリマシテ、其會社ノ資本高ガ二千三十五萬圓餘、契約金ノ總高ガ一億三千七百六十三萬餘圓デアリマシテ、既ニ抽籤入札ニ依ツテ給付ヲ終リマシタ 金高ガ三百六十七萬餘圓ニ達シテ居ルヤウナ狀況ニ相成ツテ居リマス、然ルニ是等營業者ノ多數ハ其資力ノ乏シイモノデアリマシテ、會社ノ基礎薄弱ニシテ、經營モ亦時ニ依ルト眞面目ヲ缺イテ居ルト云フヤウナ事柄ガアリマシテ、ソレガ爲ニ經濟上社會上弊害ヲ來タシマシタコトガ少カラヌノデアリマシテ、爲ニ細民ノ損害ヲ受ケマシタ者ノ多いノミデアリマセズ、延イテ國民貯蓄心ノ發達ヲモ害セムトスル情勢デアリマス故ニ、最早今日ノ儘ニ放任シテ置クコトハ出來ナイト考ヘマス、併ナガラ無盡ノ營業ナルモノハ我國多年ノ習俗デアリマス所ノ無盡講賴母子講ト云フモノヲ巧ミニ營業化イタシタモノデアリマシテ、金融ノ方便トシテハ必ずシモ不良ノ制度ト申ス譯ニハ參リマセヌノデアリマス、其長ヲ取り弊ヲ矯メテ相當ノ監督ヲ加ヘマシタナラバ、小商工業者ノ金融機關トシテ相當ノ効果ヲ擧ゲルコトガ出來ルデアラウト思ヒマス、依ツテ此所ニ無盡營業ニ關スル根障シ、併セテ監督ノ周密ヲ期シタイト存ズルノデアリマス、此法案ハ衆議院ニ於テモ大體ニ於テ本案ニ同意ヲセラレタノデアリマスガ、三點バカリ修正ヲ加ヘラレタノデアリマス、其修正ハ原案ニ於テハ無盡業ノ營業區域ト云フモノヲ同府縣ノ區域ニ定メマシテ、其以外ニハ營業ノ出來ヌヤウニスルト云

フ原案デアッタノデアリマス、是ハ無盡業ナルモノガ小商工業者ノ金融機關ノ性質ナルニ鑑ミマシテ、細民ノ金融機關デアル以上ハ其區域ハ餘り廣ク涉ルニ及バヌ、今日ノ弊害ハ本店ヲ東京ニ持ツテ居ツテ全國各地方ニ擴ガツテ營業スル、地方ノ人ハ本店ノ如何ナル資力ノモノト云フコトヲ能ク承知セヌデ加入シタ結果、後デ大變迷惑ヲ受ケマスカラ、營業區域ヲ限ルガ相當デアルト云アリマスケレドモ、唯餘リニ限定シタ結果、同府縣ニ境ヲ接シテ居ルヤウナフノガ原案ノ趣意デアッタノデアリマス、其點ニ付テハ衆議院ニ於テモ、營業區域ヲ限ルガ相當デ、其弊害ヲ絶ツノガ宜シイト云フ趣意ハ認メラレタノデ涉ツテ勸誘スルコトガ出來ヌヤウニナルノハ宜シイガ、加入者自身ガ進ンデ加入シタル場合ニハ許シテモ宜シイト云フ意見ニ依ツテ第六條ニ修正ヲ加ヘラレタノデアリマス、又無盡業者ノ資金ノ利用方法ガ、原案デハ限定シテアリマシタガ、衆議院ニ於テハ大體資金ノ運用方法ヲ限定シテ確實ニスルト云フコトハ至極宜シケレドモ、併ナガラ掛金者ガ既ニ自分ノ拂込ンダ掛金ノ範圍内デ、營業者カラ借入金ヲ爲シタル場合ニマデモ、之ヲ爲スコトガ出來ヌト云フノハ、却ツテ是モ亦折角金融ノ目的ヲ達スル上ニ宜シクナイカラ、掛金者ガ自分ガ拂込ンダ拂込ノ範圍内ニ於テ、會社カラ金ヲ借りヤウトスレバ、ソレヲ貸付ケテモ宜シト云フコトニシテ、金融ノ目的ヲ達スルト同時ニ、一方事業者自身ノ經營ノ基礎ヲ確實ニスルヤウニシタガ宜シイト云フノデ、其修正ガ一ツ這入ッタノデアリマス、尙ホ原案ニ於テハ掛金者ガ營業時間内、何時ト雖モ帳簿ノ閲覽ヲ求メタナラバ、必ズ之ヲ見セナケレバナラヌト云フコトニナツテ居リマシタガ、誰デモ見ニ來タナラバ直グニ見セルト云フコトニシテ、一方ニコトハ餘リ煩雜デアルカラ、掛金者ノ加入シテ居ル其無盡ノ加入者ノ數ノ五分ノ一以上ノ者カラ見タイト言ヘバ帳簿ヲ見セルト云フコトニシテ、一方ニハ相當ノ人ノ同意ヲ得テ閲覽ヲ求メレバ見ラレルヤウニシ、一方ニハ又事業者ガ誰デモ掛金者ガ見ニ來レバ直チニ帳簿ヲ見セネバナラヌ煩勞ヲ省ク方ガ宜シイト云フ十九條ノ修正ガ出來タノデアリマス、意味ニ於テ是等ノ三箇條ノ修正ナルモノハ政府ニ於テモ至極相當ナ修正デアルト思ヒマシテ、全然同意ヲ表シテ居リマスカラ、願ハクバ衆議院修正通リ本院ニ於テモ可決アラ

○岡田良平君 質問ヲ致シマス、民法第三十四條ニ依リマシテ設立イタシタ、謂ハユル公益法人ト申スモノガ澤山アリマスガ、其中ニハ無盡ニ稍類似ノコトヲ致シテ居ルノガ澤山アリマス、又次ノ日程ニ載ツテ居リマス貯蓄ノコトヲ盛ニニヤツテ居ル者モアリマスガ、是等ハ無論營業トシテ居ル者デモアリマセヌカラ、此法ノ支配ニハ這入ラスト考ヘテ居リマスガ、當局者ハドウ云フ御主義デ御發案ニナッタノデアリマスカ、念ノ爲ニ伺ツテ置キタイ

〔國務大臣若槻禮次郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(若槻禮次郎君) 唯今御質問ニナリマシタヤウナ公益法人ハ本法ニハ關係ナイモノデアリマシテ、御尋ノ通りデアリマス

○小松原英太郎君 是カラ分科會ヲ開キタイト存ジマス、御差支ゴザイマセスカ

○議長(公爵德川家達君) 分科會へ退席ノ御要求デゴザイマスカ

○小松原英太郎君 分科會ヲ開キタイト思ヒマス、退席イタシタウゴザイマ異存ゴザイマセスカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○阪本彰之助君 曜キニ法人ノ役員處罰ニ關スル法律案ニ付テ政府ニ御尋ヲ致シマシタ所ガ、本員ノ欲スル所ノヤウナ事柄ハ無盡業法案及貯銀行條例ノ改正案ガ衆議院ニ出テ居ルカラ、不日本院ニ廻ハルト云フ御答デアリマシタ、即チ本日日程ニ上リマシタモノガソレデアルト思ヒマス、此無盡業法案ナルモノヲ拜見イタシ又唯今御説明ヲ承ルト、無盡及賴母子講ト云フヤウナモノハ我國ノ習慣ニモアルカラ、ソレヲ取締ル法ヲ設ケテ善用イタシタナラバ相當ノ利益ガアルデアラウト云フ意味合ノヤウデアリマス、本員等ガ考ヘマスルト、從前ノ無盡、賴母子講ナドト云フモノハ、今日デ申シマスレバ信ル情ニ於テ組合ツテ出來タモノデアル、然ルニ今日ノ無盡ナルモノハ全ク或一種ノ人ミガ眞ニ營利的ニ、而カモ場合ニ依ツテハ不正ナ營利ノ爲ニ種々ナ組織

ヲ設ケテ細民ノ貯蓄ヲ奪ヒ去ル……ト申シテハドウカ知レマセヌガ、サウ云
フコトモアルノデ、ドウモ本員等ガ考ヘマスルニハ、無盡業ヲ公許セラルノ
ハ弊害多クシテ利益少イト存ジマスルノデ政府ハ……唯今ノ御説明ニ依ツテ
確認ニナツテ居ルノデアリマスカ、私ハ寧ロ極端カ知ラヌガ斯ノ如キモノハ御
禁止ニナツタ方ガ……他ニモ斯ウ云フコトヲヤルモノハ善良ノ方法ガ幾ラモ
アル、然ルニ八百ナンボアルトカ、金デ申スト何億ナンボトカ云フ御話デアリ
マシタガ、ソレハ徒ニ影ノ大キナノヲ見ラレタノデハアルマイカト思ヒマス、
八百ナンボト云フモノガドウ云フ所ニアリマスルカ、多ク都會ノ地ニアリマ
スルデセウカ、餘程是ハ考ヘ物デアラウト思ヒマスガ、殊ニ條文ヲ拜見シマ
スルト、罰則モ唯過料ノ刑ニ處セラルダケデアリマスガ、中ニ十圓以上千
圓以下ノ過料位ハ隨分覺悟ノ上デヤル者モアルダラウト思ヒマス、此位ノ御
取締デ之ヲ公認セラルルト云フコトハ餘程危險ノコトノヤウニ考ヘラレマス
ガ、其邊ハ如何ナモノデアリマセウカ、從來是等ノ業體ハ、無盡業ノ取締デ
ハアリマセヌケレドモ、銀行ノ取締ナドト云フコトハ地方長官ニ御任セニナ
ラズニ、大藏省ノ直轄ト云フヤウニ近頃ナツテ居ツタノデ、隨分弊害ノ多クア
ルモノデアルト地方長官ガ認メマシテモ直チニ手ヲ著ケルコトガ出來ヌ、其
爲ニ不都合ガ出來タト云フヤウナコトガアリマスカラ、是モ丁度大藏省ノ所
管ニ屬スルコトニナルヤウデアリマスガ、斯ノ如キモノモ矢張リ銀行同様大
藏省ガ御直轄デ御取締ニナルト云フ御主意デアリマセウカ、ソレナラバ尙更
地方ニ於ケル弊害ヲ助長シテ救フベカラザルニ至ルガ如キコトハアルマイ
カ、法律ヲ以テ斯ノ如キモノヲ公認セラルルト云フコトハ甚ダ如何ハシク存
ジマス故ニ、尙ホ一應政府ノ御確認ニナツテ居リマスル御所見ヲ拜聽イタシ
タイト思ヒマス

〔國務大臣若槻禮次郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(若槻禮次郎君) 無盡營業ト云フモノガ此節既ニ出來マシテ、其
中ニハ弊害ノアルコトハ唯今阪本君ノ御述ベニナル通リノヤウナノモアリマ
スケレドモ、中ニハ是アルガ故ニ之ニ依ツテ商賣或ハ工業ノ資本ヲ得テ居ル
者ガ段々アルノデアリマス、ソレデ全然之ヲ禁ジテ仕舞フト、是マデ之ニ依ツ
テ始メテ資金ヲ得テ商賣工業ヲ致シテ居ツタ者ガ其便利ヲ全ク失フノデアリマ
ス、盡ク銀行ニ行ツテ金ヲ借リレバ宜シイノデアリマスケレドモ、人ニ依

ドウモ斯ウ云フヤウナ機關ヲ利用スルコトガ始ツテ居リマス以上、之ヲ全然禁
明瞭デハアリマスガ、斯ノ如キモノヲ公許セザルベカラザル必要ガアルト御
禁止ニナツタ方ガ……他ニモ斯ウ云フコトヲヤルモノハ善良ノ方法ガ幾ラモ
アル、然ルニ八百ナンボアルトカ、金デ申スト何億ナンボトカ云フ御話デアリ
マシタガ、ソレハ徒ニ影ノ大キナノヲ見ラレタノデハアルマイカト思ヒマス、
八百ナンボト云フモノガドウ云フ所ニアリマスルカ、多ク都會ノ地ニアリマ
スルデセウカ、餘程是ハ考ヘ物デアラウト思ヒマスガ、殊ニ條文ヲ拜見シマ
スルト、罰則モ唯過料ノ刑ニ處セラルダケデアリマスガ、中ニ十圓以上千
圓以下ノ過料位ハ隨分覺悟ノ上デヤル者モアルダラウト思ヒマス、此位ノ御
取締デ之ヲ公認セラルルト云フコトハ餘程危險ノコトノヤウニ考ヘラレマス
ガ、其邊ハ如何ナモノデアリマセウカ、從來是等ノ業體ハ、無盡業ノ取締デ
ハアリマセヌケレドモ、銀行ノ取締ナドト云フコトハ地方長官ニ御任セニナ
ラズニ、大藏省ノ直轄ト云フヤウニ近頃ナツテ居ツタノデ、隨分弊害ノ多クア
ルモノデアルト地方長官ガ認メマシテモ直チニ手ヲ著ケルコトガ出來ヌ、其
爲ニ不都合ガ出來タト云フヤウナコトガアリマスカラ、是モ丁度大藏省ノ所
管ニ屬スルコトニナルヤウデアリマスガ、斯ノ如キモノモ矢張リ銀行同様大
藏省ガ御直轄デ御取締ニナルト云フ御主意デアリマセウカ、ソレナラバ尙更
地方ニ於ケル弊害ヲ助長シテ救フベカラザルニ至ルガ如キコトハアルマイ
カ、法律ヲ以テ斯ノ如キモノヲ公認セラルルト云フコトハ甚ダ如何ハシク存
ジマス故ニ、尙ホ一應政府ノ御確認ニナツテ居リマスル御所見ヲ拜聽イタシ
タイト思ヒマス

○石渡敏一君 唯今阪本君ノ御問ニ對スル大藏大臣ノ御答辯ノ中ニ、處罰ノ
コトニ關スル五圓以上五十圓以下ノ過料ダケデ罰ヲ濟マセル、ソレハ不當デ
ハナイカト云フ御問ガアツタ、其點ニ付テノ御答辯ガナイヤウニ存ジマス、斯
ノ如ク輕少ナル刑デ濟ムト云フコトノ御考ヲ一つ伺ツテ置キタイト存ジマス
〔國務大臣若槻禮次郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(若槻禮次郎君) 此制裁ノ規定ハ、銀行條例或ハ信託法ト云フヤ
ウナ、同ジク金融ノコトヲ定メテ居リマス諸般ノ法律ト權衡ヲ取ツテ定メタ
ノデアリマス、ソレデ此規定ニ關スル制裁ノミヲ特ニ重ク致シマスト、他ノ
同ジク金融等ニ對スル取締法ノ制裁ト權衡ヲ失フヤウニナルノデアリマシ
テ、矢張リ他ノ法規ト大體權衡ヲ得ルヤウニ定メタ方ガ相當デアラウト思
テ大體定メテ居ルノデアリマス、阪本君ノ御質問ニナツタノモ其主意デアリマ
スカラ併セテ御答イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 他ニ質問モナイト認メマスカラ、本案ノ特別委員
ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀イタサセマス

〔成瀬書記官朗讀〕

伯爵林 博太郎君 男爵尾崎 三良君 子爵山口 弘達君
山本 達雄君 男爵藤大路 親春君 男爵眞田 幸世君

男爵藤堂 高成君 石橋 謹二君 日高榮三郎君

賈蓄銀行條例中改正法律案

賈蓄銀行條例中改正法律案

ヲ命シ又ハ營業ノ認可ヲ取消スコトヲ得
第九條 營業ノ認可ヲ受ケシテ第一條ニ掲タル事業ヲ營ミタルトキハ

其營業主ヲ千圓以下ノ罰金ニ處ス
前項ノ罰則ハ營業主法人ナルトキハ其業務ヲ執行スル社員、取締役、監

查役其他法人ノ代表者、外國會社ノ代表者ニ之ヲ適用シ未成年者又ハ禁
治產者ナルトキハ之ヲ其法定代理人ニ適用ス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第五、賈蓄銀行條例中改正法律案、政府
提出、衆議院送付、第一讀會、第六、營業稅法中改正法律案、政府提出、衆
議院送付、第一讀會

賈蓄銀行條例中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正四年六月四日

衆議院議長島田三郎

貴族院議長公爵徳川家達殿

賈蓄銀行條例中改正法律案

賈蓄銀行條例中改正法律案

第一條第二項ヲ左ノ如ク改ム

賈蓄銀行條例中左ノ通改正ス
公衆ノ爲左ノ事業ヲ營ム者ハ賈蓄銀行ノ業ヲ營ムモノト爲シ此條例ニ依

ラシム

一 一回五圓未滿ノ金額ヲ預金トシテ受入ルルコト

二 豫メ拂戻ノ期限ヲ定メ定期ニ又ハ一定ノ期間内ニ於テ數回ニ預金ヲ

受入ルルコト

三 期限ヲ定メテ一定金額ノ給付ヲ爲スコトヲ約シ定期ニ又ハ一定ノ期
間内ニ於テ數回ニ金錢ヲ受入ルルコト

第六條ノ二 前三條ノ規定ハ第一條第二項ノ預金及受入金ニ付之ヲ準用ス
第七條 賈蓄銀行ニ於テ定款又ハ第一條ノ事業ノ種類及方法ヲ變更セムト
スルトキハ地方長官ヲ經由シテ大藏大臣ノ認可ヲ受クヘシ代理店ヲ設置

セントスルトキ亦同シ

大藏大臣ハ必要ト認ムルトキハ第一條ノ事業ノ種類及方法ヲ制限シ又ハ

其變更ヲ命スルコトヲ得

第七條ノ二 大藏大臣ハ賈蓄銀行ノ業務又ハ財產ノ狀況ニ依リ第一條ノ預
金者又ハ給付金ノ債權者ノ利益ヲ保護スル爲必要ト認ムルトキハ其事業

ノ停止ヲ命シ其他必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

賈蓄銀行カ法令・定款又ハ大藏大臣ノ命令ニ違反シ其他公益ヲ害スヘキ
行爲ヲ爲シタルトキハ大藏大臣ハ事業ノ停止若ハ取締役、監査役ノ改選

營業稅法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正四年六月四日

衆議院議長島田三郎

貴族院議長公爵徳川家達殿

營業稅法中改正法律案

營業稅法中左ノ通改正ス

第一條中「一 保険業」ノ次ニ「一 無盡業」ヲ加フ

第十二條中「保険業」ノ次ニ「無盡業」ヲ加フ

附 則

本法ハ大正五年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

〔國務大臣若槻禮次郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(若槻禮次郎君) 近時積立金又ハ据置預金ト稱ヘマシテ定期ニ積金ヲナサシメテ置キマシテ、契約期間ノ満了ニ依ツテ一定ノ金額ノ拂戻シヲナスコトヲ業務トスルモノガ段々生ジテ參リマシテ、此統計ヲ申シマスレバ大

正三年十月末ニ於テ貯蓄銀行ニシテ之ヲ行ツテ居ルモノガ二百五十四、普通銀

行ニシテ之ヲ行ツテ居リマスモノガ七十六、銀行デナイ會社ニシテ之ヲ行ツテ

居リマスモノガ九十六アリマシテ、其預金ノ口數ガ八十四万三千餘、契約高ガ

一億二千八十餘万圓、積立金ノ現在高ガ二千二十餘万圓ニ達シテ居ルヤウナ

状況ニアリマス、而シテ此種ノ營業者モ信用薄弱ナモノ並ニ經營ノ上ニ於テ

ナインデアリマス、然ルニ此種預金ノ經濟上ノ性質ヲ考ヘテ見マスト、長期ニ

瓦ツテ零細資金ヲ吸集シテ之ヲ保管利殖スルモノニアリマスカラ、其安全ト

確實トヲ期セネバナラヌト云フ點ニ於テ貯蓄預金ト何等選ブ所ハナインデア

リマス、依ツテ此種ノ業務ヲ以テ貯蓄銀行業務ノ一ツト致シテ、貯蓄銀行以外

ノ營業者ガ斯様ナ業務ヲ營ムコトヲ禁止イタサムトスル次第デアリマス、唯

現行貯蓄銀行條例中ノ不備ノ點ヲ補ヒマシテ、貯蓄銀行ヲシテ弊害ナカラム

ヤウニ職責ヲ完ウセシメムガ爲ニ、貯蓄預金ノ種類及方法ニ付テ豫メ主務大

臣ノ認可ヲ受ケサセマシ、且ツ主務大臣ハ債權者ノ權利ヲ保護スル爲ニ必

要ナル命令ヲ發シ、又營業認可ノ取消ヲナスコトモ出來ルヤウニ致シマシテ、

以テ据置預金、積立金ノ取締ト同時ニ、貯蓄銀行全般ニ對スル監督ノ周到ヲ期

シタイト存ズルノニアリマス、尙ホ其次ノ日程ニ上ツテ居リマス營業稅法中ノマス、兩案共御審議ノ上御協賛ニナラムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第五、第六ハ第四ノ法案ト同一委員ニ付託シテ御異存ゴザイマセヌカ

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第七、染料醫藥品製造獎勵法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正四年六月四日

貴族院議長公爵德川家達殿

衆議院議長島田三郎

〔小字ハ修正文ノハセテノハ〕

染料醫藥品製造獎勵法

第一條 本法ニ於テ染料ト稱スルハ「アニリンソルト」、「アニリン」染料、

「アリザリン」染料及人造藍ヲ謂ヒ醫藥品ト稱スルハ勅令ヲ以テ指定スル醫藥品ヲ謂フ

第二條 帝國法律ニ依リ設立シタル株式會社ニシテ其ノ資本ノ半額以上及議決權ノ過半數カ帝國臣民ニ屬スルモノ命令ノ定ムル所ニ依リ帝國ニ於

テ染料又ハ醫藥品ノ製造業ヲ營ムトキハ本法施行ノ日ヨリ十年ヲ限リ之ニ補助金ヲ交付スルコトヲ得

第三條 补助金額ハ會社ノ配當シ得ヘキ利益ヲ每營業年度ニ於テ其ノ拂込株金額ニ對シ年百分ノ八ノ割合ニ達セシムヘキ金額トス

前項ノ利益及補助金額ノ算出ニ付テハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第四條 會社ハ主務大臣ノ認可ヲ經ルニ非サレハ利益ノ處分ヲ爲スコトヲ得ス

第五條 前二條ノ規定ハ會社カ他ノ業務ヲ兼營スル場合ニ於テ命令ノ定ム

ル所ニ依リ染料又ハ醫藥品ノ製造業ニ關シ特別ノ計算ヲ立テタルトキ其ノ利益及補助金額ニ付之ヲ準用ス

第六條 主務大臣ハ補助金ノ交付ヲ終ル迄ハ會社ノ業務ヲ監督シ之カ爲必
要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ

〔五〕

第七條 主務大臣ハ會社カ法令若ハ補助ニ附シタル條件ニ違反シ又ハ之ニ基キテ爲シタル處分ニ從ハサルトキハ之ニ對シ補助金ノ全部又ハ一部ヲ交付セナルコトヲ得ム

第八條 詐欺ニ因リ會社カ補助金ヲ受ケタルトキハ其ノ金額ヲ償還セシム

前項ノ償還金ハ國稅滯納處分ノ例ニ依リ之ヲ徵收スルコトヲ得但シ先取特權ノ順位ハ國稅ニ次クモノトス

第九條 染料又ハ醫藥品ノ製造ニ附隨シ勅令ヲ以テ指定スル石炭乾溜副生物ヲ原料トシテ藥品又ハ香料ヲ製造スル場合ニ於テハ之ヲ染料又ハ醫藥品ノ製造ト看做ス

第十條 勅令ヲ以テ指定スル火藥爆藥ノ原料藥品ノ製造ハ之ヲ染料又ハ醫藥品ノ製造ト看做ス

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

〔國務大臣河野廣中君演壇ニ登ル〕

○國務大臣（河野廣中君）過般戰亂ノ爲ニ染料ノ輸入ガ一時ニ杜絶イタシマシタ爲ニ、染物織物ノ工業ニ重大ナル支障ヲ來タシマシタノデアリマス、併シ内地ニ於テモ相當ノ染料ヲ製造スルコトハ出來得ルノデアリマスガ、之ニ要スル原料ハ外國品ニ比較イタシマシテ高價ナルガタメ、啻ニ高價ナルノミニラズ技術上ニ於テモ又研究ヲ要スベキ事項ガ少カラヌノデアリマシテ、ソレ故ニ唯今此製造業ヲ企テマシテモ、戰亂終熄ノ後ニ外國品ノ競争ノ爲ニ壓倒サレルト云フ實情デゴザイマス、サレバ技術上及經濟上ノ關係ニ於テ、十分基礎アル發達ヲ遂グルニ至ルマデハ之ニ相當ノ補助ヲ致シマセヌケレバ、今日ニ於テ此製造業ノ發達ヲ期スルコトハ出來マセヌノデアリマス、ソレ故ニ政府ニ於キマシテハ十年間ニ瓦リマシテ、染料ノ製造業ヲ營ム株式會社ニ對シマシテ相當ノ補助ヲナシテ、サウシテ工業界ノ當面ノ急ニ應ズルト共ニ、一面斯業ノ進歩ニ關スル永遠ノ基礎ヲ立テムト致シマスコトデゴザイマス、尙ホ醫業及火藥、爆藥ノ原料藥品中、是ガ供給ヲ歐羅巴ニ仰ギマシタモノモ、是又戰亂ノ爲ニ輸入杜絕ニ至リマシテ、衛生上、軍事上ニ支障ヲ來タシテ居

○議長（公爵德川家達君）別ニ御質問モナイヤウニ認メマスカラ、本案ノ特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀イタサセマス

〔成瀬書記官朗讀〕

染料醫藥品製造獎勵法案特別委員

| | | |
|----------|----------|----------|
| 侯爵德川 義親君 | 松岡 康毅君 | 子爵實吉 安純君 |
| 子爵本多 忠鋒君 | 男爵武井 守正君 | 藤田 四郎君 |
| 山田 春三君 | 美馬儀一郎君 | 桑田 熊藏君 |

○議長（公爵德川家達君）議事日程第八、大正四年勅令第十一號（承諾ヲ求ムル件）衆議院送付、會議、委員長報告

大正四年勅令第十一號

右承諾スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正四年六月四日

右特別委員長

伯爵吉井 幸藏

〔伯爵吉井幸藏君演壇ニ登ル〕
貴族院議長公爵德川家達殿

○伯爵吉井幸藏君 此法案ノ委員會ノ結果ヲ御報告申上ゲマス、此法案ハ衆議院議員選舉法ニ關シマシテ、緊急勅令ヲ公布サレマシタ其事後承諾ヲ求メル法案デアリマス、三十一議會ニ於キマシテ稅法ガ改正ニナリマシタ結果、選舉資格ニ付キマシテ大變ナ變動ヲ來タス次第アルノデアリマス、ソレハ對シマシテ相當ノ補助ヲナシテ、サウシテ工業界ノ當面ノ急ニ應ズルト共ニ、次第デアリマス、ソレデ其結果デ此營業稅法等ニ付キマシテハ其申告ヲ一月三十日ニ致シテ、ソレカラ調査委員ガ出來テ段々調査イタシマシテ、其結果ヲ稅務署長ニ報告スル、ソレニ依テ稅額ガ決定スルノデアリマスカラ、ナ

カ／＼暇取リマシテ、本年ノ三月二十五日ニ行ハレマシタ總選舉マデニハ其調ベガ附キ兼ネル、不可能デアルト云フノデ、其儘ニシテ置クト後トデ選舉資格ニ付テノ訴訟等ガ多々起リマシテ非常ニ困難ヲ來タス虞ガアルノデ、公共ノ安全ヲ圖ルガ爲ニ此勅令ヲ發セラレタノデアリマス、其趣意ハ此勅令ヲ發セラレル時ニ、既ニ確定名簿ニ登録サレテ居ル資格者ハ、納稅額ニ於テ變動ヲ來タシテモ尙ホ此選舉ニ付テハ選舉資格ヲ有セシムルト云フ勅令デアルノデアリマス、之ヲ尙ホ次ノ確定名簿即チ本年ノ十二月二十日ニ次ノ選舉人名簿ハ決定サレルノデアリマスガ、ソレマデ此効力ヲ有セシムル必要ガアルト云フノデアリマス、其必要ハ重ニ此間ニ於テ、補闕選舉等ガアリマシタトキニハ、矢張リ同ジ名簿ニ依リマシテ選舉スルト云フコトニナルノデアリマス、ソレデ特別委員會ニ於キマシテハ段々質問ナドヲ致シマシテ能ク審査イタシマシタガ、ドウモ事情已ムヲ得ヌ次第デアルニ依ツテ、是ハ承認ヲ與ヘルコトニ……承諾スルコトニ決定イタシマシタ次第デゴザイマス、此段御報告申上ゲマス

○議長（公爵德川家達君） 本案ニ承諾ヲ與フベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長（公爵德川家達君） 過半數ト認メマス

○議長（公爵德川家達君） 議事日程第九、鐵道敷設法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告

鐵道敷設法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正四年六月四日

右特別委員長
公爵二條 基弘

貴族院議長公爵德川家達殿
〔公爵二條基弘君演壇ニ登ル〕

○公爵二條基弘君 委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報道イタシマス、委員會ハ昨日開キマシテ同日ニ之ヲ決定イタシタ譯デアリマス、此法案ハ即チ鐵道敷設法中第七條第一項第六其中ノ「新潟縣下新發田ヨリ村上ニ至ル鐵道」ト云フ

文字ヲ削ルト云フノデアリマス、是ハ既ニ此線路ガ出來テ今日運轉ヲシテ居ルコトニナツタノデアリマスルカラシテ、ソレデ此最早削ルト云フコトニナツタノデアリマスル、ソレデ鐵道敷設法ニ依リマスレバ、即チ村上カラシテ秋田ニ至ルト云フコトハ全然後ニ殘ツテ居ルト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、是ハマア是カラ工事ニ著手スルト云フコトニナリマス、ソレカラ其次ノ期線ニ這入ツテ居リマス、今度川之江カラ西條ニ至ル此線路ヲ之ニ追加シテ第一期線ニ入レルト云フコトニナツテ、詰リソレデアリマスカラ延長シタコトニナリマスルカラ、此鐵道ヲ今ノ川之江ト云フ處カラ西條ト云フ處ニ延バシテ敷設スルト云フ改正ノコトニナリマス、此法案ニ付キマシテ委員會ニ於キマシテハ少シハ質問ハゴザイマシタケレドモ、取立テテ今此處デ諸君ニ御報道スルダケノモノトハ思ヒマセヌカラシテ省略イタシマス、ソコデ委員會ニ於キマシテハ政府委員ノ説明ヲ聽キマシタ後、其質問ノ了ツタ所デ採決ヲ致シマシタ所ガ、満場一致ヲ以チマシテ原案ノ通リ可決ニ相成リマシタノデゴザイマス、此段御報告ヲ……付キマシテハ別段是ハ委員會ニ於テモソレシテ、讀會省略ヲ以テ通過サレムコトヲ希望イタシマスカラ、同時ニ此動議ヲ提出イタシマス、ドウカ御賛成ヲ願ヒマス

○男爵眞田幸世君 讀會省略ニ賛成

○伯爵大原重朝君 讀會省略ニ賛成

○伯爵吉井幸藏君 讀會省略ニ賛成

○子爵豊岡圭資君 讀會省略ニ賛成

○男爵小澤武雄君 讀會省略ニ賛成

○伊澤修二君 讀會省略ニ賛成

○三宅秀君 讀會省略ニ賛成

○淺田德則君 賛成

○伯爵奥平昌恭君 賛成

○伯爵松平頼壽君 賛成

- 江木千之君 賛成
 ○石井省一郎君 賛成
 ○西村亮吉君 賛成
 ○議長（公爵德川家達君）二條公爵ノ讀會省略ノ動議ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

- 議長（公爵德川家達君）三分ノ二以上ト認メマス

- 議長（公爵德川家達君）委員長ノ報告ニ御異存ゴザイマセヌカ

- 議長（公爵德川家達君）御異議ナイト認メマス

- 議長（公爵德川家達君）議事日程第十、明治三十三年法律第五十號中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告

- 明治三十三年法律第五十號中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正四年六月四日

右特別委員長

荒川義太郎

貴族院議長公爵德川家達殿
 〔荒川義太郎君演壇ニ登ル〕

- 荒川義太郎君 本案ニ付キマシテ委員會ノ經過ヲ御報告イタシマス、委員會ハ昨日開キマシテ正副委員長互選ノ後直チニ議事ニ移リマシタ、政府委員ノ説明ヲ求メマシテ、尙ホ二三質問モアリマシテ直チニ本案ノ通り可決イタシマシタ次第ゴザイマス、デ本案ノ趣旨ハ明治三十三年法律第五十號ノ一部ヲ改正セムトスルニ在リマシテ、此三十三年ノ法律第五十號ニ依リマスト郵便爲替、郵便貯蓄ノ如キ出納事務ハ事務員ニ分掌サセルコトガ出來ルコトニナツテ居リマス、四十三年ニ至リマシテ年金恩給ノ支給モ矢張リ郵便局デ取扱フコトニナリマシタ、其後本年ノ三月カラハ國庫金ノ歲入歲出金モ矢張リ郵便官署デ受拂ラスルコトニナリマシタカラ、其爲ニ此法律ヲ改正シテ是等ノコトヲ取扱フ所ノ官吏ニモ、事務員ニモ、矢張リ現金出納事務ヲ分掌サセ

ルヤウニシタイト云フノガ今度出マシタ改正ノ趣旨デアリマス、是ハ誠ニ簡單明瞭ナ案デアリマスカラ、委員會ハ直チニ可決イタシマシタ次第デアリマスカラ、宜シク御贊成アラムコトヲ望ミマス、尙ホ簡単明瞭ノ案デゴザイマスカラ、讀會省略ノ動議ヲ提出イタシマスカラ御贊成ヲ願ヒマス

- 子爵本田忠敬君 賛成

- 男爵原口兼濟君 讀會省略賛成

- 小野田元熙君 賛成

- 男爵阪井重季君 賛成

- 男爵内田正敏君 賛成

- 男爵眞鍋斌君 賛成

- 江木千之君 賛成

- 男爵南岩倉具威君 賛成

- 議長（公爵德川家達君）荒川君ノ讀會省略ノ動議ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

- 議長（公爵德川家達君）三分ノ二以上ト認メマス

- 議長（公爵德川家達君）御異議ナイト認メマス

- 議長（公爵德川家達君）本案ニ對シテ御異存ハゴザイマセヌカ

- 議長（公爵德川家達君）御異議ナイト呼フ者アリ

- 議長（公爵德川家達君）議事日程第十一、議院法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會

議院法中改正法律案

右本院提出案及送付候也

大正四年六月二日

衆議院議長島田三郎

貴族院議長公爵德川家達殿

議院法中改正法律案

議院法中左ノ通改正ス

第十六條第一項中「書記官數人」ノ下ニ「守衛長一人及速記技師一人」ヲ加フ

同條第二項中「書記官」ノ下ニ「守衛長及速記技師」ヲ加フ

第十七條第一項中「書記官」ノ下ニ「守衛長及速記技師」ヲ加フ

同條第二項ノ次ニ左ノ二項ヲ加フ

守衛長ハ議院ノ警察事務ニ任ス

速記技師ハ議事速記錄ニ關スル事務ニ任ス

○議長(公爵徳川家達君) 特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀イタナセマス

〔成瀬書記官朗讀〕

議院法中改正法律案特別委員

子爵酒井忠亮君 子爵堀河謹磨君 子爵伊東祐弘君

男爵有地品之允君 倉富勇三郎君 男爵田健治郎君

谷森眞男君 安廣伴一郎君 高田早苗君

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第十二、第十三、第十四、第十五、第十
六、請願會議

〔左ノ意見書案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス以下之ニ倣
フ〕

意見書案

軍人恩給法規中改正ノ件

鹿兒島縣揖宿郡指宿村士族醫師豫備役陸軍二等軍醫高橋惠惠外二十六
名呈出

大分縣大分郡明治村平民農藤本林平外九名呈出

埼玉縣北足立郡浦和町士族豫備役陸軍步兵大佐植村雄太郎外七名呈出

鹿兒島縣薩摩郡樋脇村士族農西田佐一郎外四十五名呈出

高知縣土佐郡小高坂村士族無職業退役陸軍步兵中佐川口清俊外三十三
名呈出

東京市牛込區矢來町士族無職業退役陸軍砲兵大佐熊谷正躬外四十二名
呈出

長崎縣長崎市本大工町士族無職業退役陸軍步兵大尉下村勝成呈出

千葉縣君津郡龜山村平民農笈川顯外四名呈出

愛知縣名古屋市東區東撞木町士族退役陸軍步兵中佐泉法輪外百四十三
名呈出(五通)

東京市芝區白金三光町平民豫備役陸軍步兵少佐富田七郎外二十一名呈
出

新潟縣北蒲原郡新發田町士族退役陸軍步兵中佐石澤盛松外百五十九名
呈出

埼玉縣北埼玉郡利島村平民農荻原榮吉外八名呈出

島根縣能義郡廣瀬町士族退役陸軍少將熊谷宣篤外四十四名呈出(四通)

東京府豐多摩郡千駄ヶ谷町士族無職業比志島義輝外七十二名呈出

靜岡縣静岡市東草深町士族後備役陸軍步兵中尉堀西寶岸外十一名呈出

長野縣北佐久郡川邊村農小林岡次郎外一名呈出

秋田縣南秋田郡川尻村無職業後備役陸軍三等主計正矢野駒太郎外六名
呈出

三重縣多氣郡五ヶ谷村平民農高山傳七外十二名呈出

京都府愛宕郡下鴨村無職業後備役陸軍步兵大佐勝賀瀬元外二十二名呈
出

京都府上京區寺町通今出川上ル四丁目平民無職業豫備役海軍機關中佐
箕原文吉郎外三名呈出(二通)

島根縣八束郡生馬村平民農豫備役陸軍騎兵中尉福田堅藏外百九十名呈
出

石川縣金澤市玄蕃町士族退役陸軍步兵大佐鈴木常武外一名呈出

福岡縣小倉市鍛冶町平民無職業退役陸軍砲兵少佐古賀有文外十名呈出

東京市神田區駿河臺南甲賀町士族後備役陸軍步兵少佐川瀬文二外四十
二名提出

神奈川縣足柄下郡小田原町士族無職業後備役陸軍步兵大佐清水金生外
七名呈出

德島縣德島市富田浦町士族無職業後備役陸軍少將石原盧外十一名呈出

鹿兒島縣肝屬郡鹿屋町平民農城一格外五十名呈出

愛知縣渥美郡高師村平民豫備役陸軍二等主計小川三輪太郎外五名呈出

岐阜縣安八郡大垣町士族無職業退役陸軍少將可兒春琳外十名呈出
東京府豐多摩郡戸塚町士族後備役陸軍步兵中佐水野勝太郎外七名呈出
東京府豐多摩郡大久保町士族無職業退役陸軍步兵大尉安藤金三郎外二
十五名呈出

宮崎縣東臼杵郡伊形村平民無職業藤田惇外七十名呈出(三通)

東京市赤坂區青山南町平民無職業後備役陸軍步兵大尉江口三郎外二十
六名呈出

群馬縣高崎市龍見町平民醫師後備陸軍一等軍醫岩本福四郎外七十七名
呈出(二通)

宮城縣仙臺市北五番町平民無職業退役陸軍步兵大尉大浦英外七十六名
呈出

山口縣玖珂郡岩國町士族後備役陸軍中將佐々木直外八十九名呈出(四
通)

東京府豊多摩郡中野町士族退役陸軍步兵少佐野崎隆明外十一名呈出

東京市小石川區小日向臺町士族無職業退役陸軍輜重兵少佐東郷八五郎
外二十七名呈出

茨城縣猿島郡古河町公吏長沼伊之助外八名呈出

熊本縣熊本市新屋敷町無職業鈴木利亨外五十八名呈出

大分縣大分郡吉野村平民農相馬伊佐藏外六名呈出

島根縣能義郡島田村平民農後備役陸軍步兵軍曹佐伯利太郎外八十三名
呈出(九通)

山形縣米澤市信夫町平民無職業退役陸軍工兵中佐楠川敬助外四十二名
呈出

山口縣阿武郡萩町士族無職業後備役陸軍少將能美成一外二十五名呈出

北海道札幌郡琴似村士族農坂田舍外三十一名呈出(三通)

東京府豊多摩郡代々幡村士族無職業山本マス外三十三名呈出

香川縣丸龜市北平山町士族無職業村岡五萬治外十七名呈出
山梨縣南巨摩郡大須成村平民農深澤利助外五名呈出
呈出

右ノ請願ハ明治四十四年法律第五十九號ヲ以テ軍人恩給法ヲ改正セラレタ
東京府荏原郡入新井村平民後備役海軍軍醫中監山下晋外九名呈出

ルモ改正ノ恩典ハ同法施行以前ヨリ恩給ヲ受クル者ニ及ハス然レトモ恩給
ヲ受クル事由カ改正法律施行期ノ前後ニ生シタルニ因リテ恩遇ヲ異ニセラ
ルルノ理ナキノミナラス彼此權衡ヲ失スルモノト謂ハナルヘカラス又日清
日露ノ戰役ニ於テ不具トナリタル者又ハ戰死病歿シタル者ノ遺族ニシテ飢
渴ニ苦シム者尠カラス依テ同法附則ヲ改正シ明治四十四年三月三十一日以
前ニ恩給ヲ受クル者ニモ齊シク改正法ノ恩典ヲ與ヘシメラレタシトノ旨趣
ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十
五條ニ依リ別冊及送付候也

大正四年 月 日

貴族院議長公爵徳川家達

内閣總理大臣伯爵大隈重信殿

意見書案

軍人恩給法規中改正ノ件

神奈川縣横須賀市澤田士族後備役海軍少將長井群吉外十四名呈出

長崎縣西彼杵郡上長崎村無職業退役海軍機關大佐小川直一呈出

東京府豊多摩郡戸塚町平民退役海軍中尉中馬次郎兵衛外七名呈出

神奈川縣鎌倉町士族後備役海軍少將大久保喜造外七名呈出

東京市芝區白金三光町平民退役海軍中尉森延之助外十六名呈出

東京府北豐島郡巢鴨町士族後備役海軍少將澤良渙外二十二名呈出

東京府豊多摩郡中野町華族後備役海軍中將男爵橋元正明外十八名呈出

東京市芝區三田小山町士族退役海軍少將平尾福三郎外二十五名呈出

東京市本鄉區駒込曙町豫備役海軍大佐宇敷甲子郎外六名呈出

東京市麻布區笄町平民退役海軍中將松永雄樹外三十名呈出

廣島縣吳市清水通平民根本源左衛門外六十五名呈出(二通)

長崎縣佐世保市清水町平民退役海軍中尉福本虎之助外百九十八名呈出

(三通)

東京府荏原郡品川町士族退役海軍中尉深津龜吉外六十七名呈出(二通)

東京市牛込區矢來町士族無職業豫備役海軍少將松本有信外七名呈出

右ノ請願ハ明治四十四年法律第五十九號ヲ以テ軍人恩給法ヲ改正セラレタ
ルモ改正ノ恩典ハ同年三月三十日以前ニ現役ヲ離レタル者ニ及ハス然レ
トモ恩給ヲ受クル事由カ改正法施行ノ前後ニ生シタルニ因リテ恩遇ヲ異ニ
セラルノ理ナキノミナラス請願人等ハ其ノ恩典ニ浴スル者ト同様ニ體面
ヲ維持スルコト困難ナルニ依リ之ヲシテ同一ノ恩典ニ浴セシメラレタシト
ノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法
第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正四年 月 日

貴族院議長公爵徳川家達

内閣總理大臣伯爵大隈重信殿

意見書案

千曲川治水工事施行ノ件

長野縣埴科郡屋代町農若林忠之助外九名呈出

右ノ請願ハ千曲川流域地方ハ年々慘烈ナル水害ノ厄ニ遭ヒ住民悲惨ノ境ニ
在リ然ソト雖同川改修工事ノ困難ニシテ工費ノ巨額ナル到底一縣ノ財力ノ
能ク堪フル所ニアラサルノミナラス其ノ利害ノ關スル所亦一縣ニ止マラサ
ルヲ以テ信濃川第一期治水工事ノ完成ニ近ツキタル今日ニ於テ國費ヲ以テ
千曲川ニ關スル治水調査ヲ遂ケ該第一期工事ノ終了ト共ニ直ニ千曲川治水
工事ヲ施サレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト
議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正四年 月 日

貴族院議長公爵徳川家達

内閣總理大臣伯爵大隈重信殿

意見書案

私立學校令第五條改正ニ關スル件

東京市神田區錦町二丁目平民學校長城生菊四郎呈出

右ノ請願ハ教員免許狀ヲ有セシテ私立學校ノ教員タラムトスルトキハ所
定ノ事項ニ付特ニ地方長官又ハ文部大臣ノ認可ヲ受クヘキモノトセラル
結果無試験検定ニ關スル規定ニ依リ教員タル資格ヲ有スル者公立私立專門

學校規程第七條ニ該當スル資格ヲ有スル者又ハ公立私立實業教員資格ニ關
スル規程第一條第三號ニ依リ指定シタル學校ノ卒業者ト雖未教員免許狀ヲ
有セサルトキハ私立學校ニ於テ專攻學科ヲ教授スル場合ニ於テモ齊シク認
可ヲ受ケシメサルヘカラスノ如キハ甚不合理ノ制限ナルヲ以テ上記ノ者
ニシテ專攻科ヲ教授スル場合ニ限リ特ニ認可ヲ必要トセサルヤウ私立學校
令第五條ヲ改正セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘ
キモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正四年 月 日

貴族院議長公爵徳川家達

内閣總理大臣伯爵大隈重信殿

意見書案

脇町區裁判所管内登記所設置ノ件

徳島縣美馬郡半平山村士族農緒方勵外五十六名呈出

右ノ請願ハ徳島縣麻植郡木屋平村及美馬郡半平山村ハ共ニ山嶽重疊ノ間ニ
在リ所轄登記所ヲ距ルコト遠ク殊ニ降雪又ハ洪水ノ期ニ於テハ交通殆杜絶
ノ状ニ陥リ村民等ノ不便不利尠カラサルヲ以テ地境鄰接シ諸種ノ關係厚キ
兩村ヲ管轄區域トスル登記所ヲ兩村内適當ノ箇所ニ設置セラレタシトノ旨
趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六
十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正四年 月 日

貴族院議長公爵徳川家達

内閣總理大臣伯爵大隈重信殿

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（公爵徳川家達君）是等ノ請願ハ副委員長報告通リデ御異存ゴザイマ
セヌカ

○議長（公爵徳川家達君）御異議ナイト認メマス

十一、請願會議

意見書案

倭姫命奉祀ノ件

三重縣宇治山田市長福地由廉呈出

右ノ請願ハ皇祖天照大神ノ御杖代トシテ大神鎮座ノ基ヲ定メ給ヘル倭姫命ヲ奉祀シ國民ヲシテ永ク鴻恩奉謝ノ誠ヲ致サシムル爲御卽位ノ大典ヲ舉行セラルルヲ機トシ神宮ヲ奉建セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正四年 月 日

貴族院議長公爵德川家達

内閣總理大臣伯爵大隈重信殿

意見書案
神奈川縣中郡金目村ニ郵便電信局設置ノ件

神奈川縣中郡秦野町士族商中村枝幸外十四名呈出

右ノ請願ハ神奈川縣中郡金目村ハ中等學校ノ所在地ニシテ交通ノ要路ニ當ルト雖單ニ爲替ノ取扱ヲ爲ス郵便局ヲ置カルルニ過キス而シテ一般郵便事務ヲ取扱フ郵便局ヲ距ルコト遠ク不便渺カラナルヲ以テ同村ニ有集配郵便局及電信局ヲ設置セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正四年 月 日

貴族院議長公爵德川家達

内閣總理大臣伯爵大隈重信殿

貴族院議長公爵德川家達

右ノ請願ハ青森縣野邊地驛附近ニ於テ東北本線ヨリ分岐シテ大湊ニ至ル鐵道ノ敷設ハ建設費ヲ要スルコト少キニ拘ラス產業上並軍事上多大ノ利益アルヘキヲ以テ之カ施工ヲ議院ニ請願セシコト數回ニ及ヒ既ニ其ノ採擇ヲ得タルニ拘ラス未實行セラレサルハ地方人民ノ甚遺憾トスル所ナルヲ以テ最近ノ時期ニ於テ同鐵道ヲ敷設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正四年 月 日

貴族院議長公爵德川家達

意見書案
軍人恩給法規中改正ノ件

兵庫縣姬路市北條口平民無職業退役陸軍步兵中佐伊東武外百二十名呈出(二通)

廣島縣廣島市西白島町士族無職業退役陸軍憲兵大佐古賀要三郎外五百四十二名呈出(三通)

内閣總理大臣伯爵大隈重信殿

意見書案

實用新案權存續期間延長ノ件

神奈川縣中郡秦野町士族商中村枝幸呈出

右ノ請願ハ物品ニ關シ形狀構造又ハ組合ハセニ係リ實用アル新規ノ工業的考案ヲ爲スニハ幾多ノ年月ト資財トヲ要シ考案者ノ辛苦名狀スヘカラサルモノアルニ拘ラス實用新案權ノ存續期間ハ甚短キニ失スルヲ以テ實用新案

法第九條第二項ノ期間ハ之ヲ四年ニ改正セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正四年 月 日

貴族院議長公爵德川家達

内閣總理大臣伯爵大隈重信殿

貴族院議長公爵德川家達

右ノ請願ハ明治四十四年法律第五十九號ヲ以テ軍人恩給法ヲ改正セラレタルモ改正ノ恩典ハ同年三月三十一日以前ニ現役ヲ離レタル者並死歿シタル軍人ノ遺族ニ及ハス請願人等ハ物價ノ騰貴ニ伴ヒ日ニ窮困ニ陥ルヲ以テ同法附則第二項及第三項ヲ改正シ請願人等ヲシテ齊シク同法ノ恩典ニ浴セシメラレムコトヲ議院ニ請願シ屢採擇セラレタルニ拘ラス未實施セラレサルハ甚遺憾ナルヲ以テ速ニ之ヲ實行セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意

ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正四年 月 日

貴族院議長公爵徳川家達

○議長(公爵徳川家達君) 是等ノ請願モ副委員長報告通り御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 第二十二、第二十三、第二十四、第二十五、第二十六、請願會議

意見書案

渡良瀬川改修年度割繰上ノ件

栃木縣足利郡足利町平民農齋藤與左衛門外二千二百六十九名呈出

右ノ請願ハ明治四十四年法律第五十九號ヲ以テ軍人恩給法ヲ改正セラレタルモ改正ノ恩典ハ同法公布以前ニ廢兵トナリタル者及軍人ノ遺族ニ及ハス且戰死若ハ戰時病歿シタル軍人ノ遺族ニ給セラル扶助料ト廢兵トナリ死亡シタル者ノ遺族ニ給セラルモノトハ其ノ額ニ於テ大差アリ斯ノ如キハ當ニ其ノ理由ナキノミナラス請願人等ハ爲ニ漸ク生計ニ苦シムニ至ルヲ以テ改正法ノ恩典ヲ明治四十四年三月三十一日以前ニ廢兵トナリタル者軍人ノ遺族及廢兵歿後ノ遺族ニモ及ホサレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正四年 月 日

貴族院議長公爵徳川家達

意見書案

渡良瀬川水源地整理ニ關スル件

栃木縣足利郡足利町平民農齋藤與左衛門外二千二百六十九名呈出
右ノ請願ハ河川氾濫ノ害ヲ除クニハ河身ノ改修ヲ要スルコト勿論ナリト雖水源地ノ整理ヲ闕クヘカラス然ルニ渡良瀬川及利根川ノ水源地方ハ年年荒廢ヲ加ヘ殆底止スル所ヲ知ラサルノ狀態ニ在リ是ヲ以テ兩川ノ河底益隆起シ沿岸人民ハ其ノ堵ニ安セサルヲ以テ該水源地ハ總テ之ヲ保安林ニ編入シ

以テ森林ヲ保護シ及足尾銅山ヨリ生スル煙毒ノ被害ヲ除去スル等永遠ニ治水ノ基礎ヲ確定セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正四年 月 日

貴族院議長公爵徳川家達

○議長(公爵徳川家達君) 是等ノ請願モ副委員長報告通り御異存ゴザイマセヌカ

意見書案

軍人恩給法規中改正ノ件

巖手縣盛岡市平山小路士族退役陸軍歩兵大尉柴内魁三外二十六名呈出

右ノ請願ハ明治四十四年法律第五十九號ヲ以テ軍人恩給法ヲ改正セラレタルモ改正ノ恩典ハ同法公布以前ニ廢兵トナリタル者及軍人ノ遺族ニ及ハス且戰死若ハ戰時病歿シタル軍人ノ遺族ニ給セラル扶助料ト廢兵トナリ死亡シタル者ノ遺族ニ給セラルモノトハ其ノ額ニ於テ大差アリスノ如キハ當ニ其ノ理由ナキノミナラス請願人等ハ爲ニ漸ク生計ニ苦シムニ至ルヲ以テ改正法ノ恩典ヲ明治四十四年三月三十一日以前ニ廢兵トナリタル者軍人ノ遺族及廢兵歿後ノ遺族ニモ及ホサレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正四年 月 日

貴族院議長公爵徳川家達

意見書案

北海道富良野原野開發ニ關スル件

北海道空知郡下富良野村農工商業兼松爲吉外四百九十名呈出

右ノ請願ハ北海道富良野原野ハ明治三十年殖民區域ヲ定メラレタルモノ大部分ハ概濕潤ニシテ耕作ニ適セス移住農民ノ痛苦多大ナルヲ以テ之カ排水ノ策ヲ講シ同原野ヲ貫通スル排水溝ヲ設ケラレムコトヲ議院ニ請願シ既ニ其ノ採擇ヲ得タルニ拘ラス未之カ實行ヲ見ス同道拓殖上還憾渺カラサルヲ以テ速ニ之ヲ實施セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇

スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正四年 月 日

貴族院議長公爵徳川家達

内閣總理大臣伯爵大隈重信殿

新潟地方裁判所長岡支部裁判事務復舊ノ件

新潟縣長岡市長河島良溫外百六十名呈出(十通)

右ノ請願ハ新潟地方裁判所長岡支部權限ノ縮少ハ獨新潟地方裁判所ノ事務ヲ劇増セシメタルノミナラス諸種ノ取引關係最頻繁ニシテ民刑事件ノ數亦

渺少ナラサル同支部管轄區域内ニ於ケル人民ノ蒙ル所ノ不利夥多ナル到底爲ニ生シタル國費ノ節約ト相當ラサルヲ以テ該支部ノ權限ハ之ヲ復舊セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正四年 月 日

貴族院議長公爵徳川家達

内閣總理大臣伯爵大隈重信殿

○議長(公爵徳川家達君) 是等ノ請願モ副委員長ノ報告通りデ御異存ゴザイ
マセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

意見書案

○議長(公爵徳川家達君) 第二十七、第二十八、第二十九、第三十、第三十一、請願會議

意見書案
借地權救濟ニ關スル件

東京市芝區和泉町平民公吏野々山幸吉外二百二十名呈出

右ノ請願ハ借地權救濟ニ關スル請願ハ屢議院ノ採擇スル所トナリタルモ未之カ法律案ノ提出ヲ見ス爲ニ土地ノ貸借ニ關スル紛爭絶エス借地人ノ窮苦忍フ能ハサルモノアルヲ以テ建物所有ノ爲ニスル土地ノ貸借契約ヲ爲シタル場合ニ於テハ地主ハ建物所有者ノ意思ニ反シテ建物ノ取壟土地ノ返還ヲ

請求スルノ權利ナキモノトシ又地主カ時價ヲ以テ建物ヲ買收シ直接ノ損害ヲ償フトキハ土地ノ明渡ヲ行フヘク及地主ハ地代ニ付先取特權ヲ有スルコトヲ規定スル法律ヲ制定セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正四年 月 日

貴族院議長公爵徳川家達

内閣總理大臣伯爵大隈重信殿

小學校教員俸給國庫支辨ノ件

島根縣周吉郡西郷町長代理助役池田松千代外十一名呈出

右ノ請願ハ近年市町村教育費ノ膨脹甚シクシテ市町村費ノ半額ヲ占ムルニ至リタルハ啻ニ負擔過重ナルノミナラス其ノ他ノ必要ナル町村ノ施設ノ資力ヲ奪ヒ殖産興業上遺憾ナルニ依リ財政ニ餘裕ヲ生シタル今日ニ於テ教育費中多額ヲ占ムル小學校教員ノ俸給ハ之ヲ國庫支辨トセラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正四年 月 日

貴族院議長公爵徳川家達

内閣總理大臣伯爵大隈重信殿

意見書案

○議長(公爵徳川家達君) 第二十七、第二十八、第二十九、第三十、第三十一、請願會議

意見書案
山陰鐵道中濱田線竝津和野線速成ノ件

島根縣安濃郡長久村平民農恵松隆慶外百二名呈出

右ノ請願ハ山陰縱貫鐵道敷設工事ノ速ニ進捗セサルハ地方產業ノ發展上遺憾渺少ナラサルヲ以テ仁万驛以西馬路溫泉津黑松ノ各驛ヲ經テ淺利驛ニ至ル區間ハ本年度ニ於テ之ヲ起工シ又淺利濱田兩驛間ノ工事及津和野方面ヨリ築目隧道ニ至ルノ工事ハ之ヲ來年度ヨリ着手セラレ以テ速ニ完成セシメラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正四年 月 日

貴族院議長公爵徳川家達

内閣總理大臣伯爵大隈重信殿

意見書案

樺太漁業許可ニ關スル件

千葉縣長生郡一宮町平民無職業柄原角兵衛呈出

右ノ請願ハ請願人ハ明治八年以來樺太ニ於ケル祖先ノ遺業タル漁業ト莫大ノ資產トヲ失ヒ甚シク困難ノ地ニ在ルヲ以テ之ヲ救濟シ再其ノ業ヲ興サシムル爲同人ノ内閣總理大臣ニ出願セル樺太沿岸漁業免許願ニ對シ許可ヲ與ヘシメラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正四年 月 日

貴族院議長公爵徳川家達

内閣總理大臣伯爵大隈重信殿

意見書案

利根渡良瀬兩川改修工事速成ノ件

群馬縣邑樂郡館林町士族熊谷直方外三千百五十八名呈出

右ノ請願ハ利根川及渡良瀬川ハ現ニ改修工事ノ施行中ニ屬ス然ルニ兩川ハ累年氾濫シ沿岸地方ノ被害尠カラス就中兩川ノ中間ニ介在スル群馬縣邑樂郡ニ於テハ被害ノ程度甚シク人民ノ痛苦名狀スヘカラサルモノアルヲ以テ其ノ禍根ヲ除ク爲特ニ兩川ノ改修工事完成ノ年度ヲ短縮シ大正六年度ニ於テ完成セシメラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正四年 月 日

貴族院議長公爵徳川家達

内閣總理大臣伯爵大隈重信殿

○男爵小澤武雄君 本員ハ第三十ノコトニ付テ請願委員長ニ御尋ね致シタイ、此請願ハ明治八年ニ於テ樺太ト千島ト交換ノ結果トシテ、祖先ノ遺業タル漁業ト資產ヲ失タカラ再び樺太沿岸ノ漁業ヲ致シタイト云フコトヲ總理大臣ニ願テアルカラ、ドウカ許可ノアルヤウニシテ貴ヒタイト云フノデアリ

マスガ、明治八年ノ樺太ト千島ノ交換ニ付テ、漁業ノ權利ヲ失タト云フコトハ、勿論不憫ノコトデアルガ、其節ニ政府カラ何カ此業務ヲ失タニ付テ、ソレヲ救濟スル方法ガ立ツテ居リハシナカッタノデアリマスカ、又ハ本人カラ其時請願ヲ出シタノデアリマスカ、内閣總理大臣ハ免許願出ノコトヲ御取調べニナツタナラバ、ソレ等ノコトハ分ツテ居ルコトト思ヒマス、請願委員會ニ於テハ御調ベニナツタノデアリマスカ、ソレヲ承リタイ

○三宅秀君 唯今小澤男爵ノ御質問ハ能ク聽取り兼子マシタガ、詰リ此三十號ノ請願ハ、此人一人特別ノコトデアル趣デゴザリマス、此人ハ明治八年マデ樺太デ漁業ヲシテ居ツタノデ、舊幕府時代ニ、露西亞へ引渡ニナリマシタ時分ニ、内地ニ移住イタシマセヌデ樺太ニ居リマシタカラ、露西亞ノ官憲其他トモ免角衝突勝デ、頗ル困難ナ思ヒヲ致シテ居リマシタノデアリマス、所ガ此度露領カラシテ我帝國ノ方ヘ、所有權ガ移リマシタカラ大ニ愁眉ヲ開キマシタケレドモ、是迄困難ヲ致シテ「聽取シ難シ」ヲ受ケテ居ツタ爲ニ、幾分力補助ヲ願ヒタイト云フコトヲ請願ニ出シタケレドモ、特別ノ扱ヒガナイカラ……特別ノ御扱ヒノ外ニ願出シタコトモアリマス……矢張リ祖先ノ事業ヲ繼續イタシタイ、樺太沿岸デ漁業ノ免許ヲ願出マシタトキニ、聊カ時機ヲ失シテ居リマシタハデ、是ハ如何ニモ憫然デアリマスカラ、採擇イタスコトニ致シタ

ベガアツタカ、ソレヲ伺ヒタイ、第三ニハ我國庫ノ經濟ニ於テ小學校教員ノ俸給ヲ國庫支辨ニスルト數千万圓ノ多額ヲ要スルガ、我財政ノ有様ハ如何デアルカ、前々内閣ノ行政整理ノ時ナドハ、實ニ忍ビ難イ所ヲ忍ンデ、法律ノ改正マデシテ、行政整理ヲシテ、國家ノ財政ニ餘裕ガ生ズルコトニ我ミハ協賛ヲ致シタノデアル、又此頃ハ二千万圓ノ鐵道ノ改良費ヲ得ムガ爲ニモ、政府モ議會モ非常ナ苦心ヲシテ居ル有様デアル、サウ云フ財政ノ有様デアルニ拘ラズ、數千万圓ニ上ル小學校教員ノ俸給ヲ國庫デ支辨スル請願ヲ探擇セラレタノハ如何ナル譯デアルカ、是等ノ點ニ付テハ十分ニ調査ヲセラレタラウト思ヒマスカラ承リタイト思ヒマス

○三宅秀君 一應江木君ノ御質問ニ御答ヲ致シマスガ、大體此小學校教員ノ俸給ヲ、全部國庫ノ負擔ニシテ欲シイト云フ請願ノ意味デハナイラシク見受ケマシタ、全部ヲ致シマスニハドノ位費用ガ掛ルカト云フコトヲ承リマシタ所ガ、二千四百万圓程掛ルノダサウデス、丁度江木君ノ御話ノヤウニ二千四百万圓ハ如何ニモ莫大ナモノデアリマスカラ、全部國庫支辨トスルコトヲ願ヒマス意味デアリマスナラバ、無論今日之ヲ提出スルコトハ致サヌ意見デゴザイマシタケレドモ、其範圍ト云フモノガゴザイマセヌ以上ハ、幾分ノ國庫補助ヲサレルコトニ致シマシテモ、町村ノ負擔ヲ輕クスルト云フ目的ハ達セラレルデアラウ、又請願者ノ意思モ其邊ニ在ルダラウト思ッテ之ヲ探擇スルコトニ決シタノデアリマス、ソレカラ地方費ノ徵收ノコトニ付キマシテハ本員ハ其制度ヲ詳ニシテ居リマセヌガ、丁度此請願ヲ擔當ナレマシタノハ荒川義太郎君デアリマシテ、地方長官トシテハ長イ御經驗ノアル御方デゴザイマス、此御方ノ御考デモ町村費ヲ輕クスル爲ニ幾分ノ國庫支辨ハシテヤッタラ宜カラウト云フコトデゴザイマシタカラ、格別ノ反對モナク多數ヲ以テ請願委員會ハ通過イタシマシタ次第デゴザイマス、ソコマデハ私ガ御答ヲ致シテ置キマス

○江木千之君 唯今ノ御答デ見マスルト、國庫支辨トアツテ、サウシテ補助ノ意味ダト云フヤウナコトハ、誠ニ驚入シタノデアリマスルガ、教員ノ俸給ヲ補助スルト云フコトニ付テハ多少補助ハシテ居ル、又先年議會カラ喧マシク申シテ百万圓ヲ増加シタト云フヤウナ經歷モアルノデアリマス、補助ト云フコトハ今日既ニ致シテ居ル、國庫支辨ト云フ言葉ハ全體ヲ國庫ノ負擔ニスルト云フ意味デアツテ、數年間サウ云フコトデ請願ナドモ出テ來テ居ルト本員ハ考

ヘル、併ナガラソレガ補助デアルト云フナラバ餘程能ク攻究サレヌト、是デハ甚ダ曖昧デアルト云フコトト、ソレカラ稅制ノ取締ト云フコトニ付テモ誠ニ御答ガ不明瞭デアル、又目下ノ財政ニ付テハ一向御答ガ出來ヌト云フヤウナ有様デアル、是ハドウカ貴族院トシテハ宜シク慎重ニ審議ヲセラルベキモノデアルト考ヘマスカラ、尙ホ十分ニ調査ヲ遂ゲラルルヤウニト云フ考ヲ以テ本員ハ之ヲ不探擇ニ致シタイト考ヘル

○議長(公爵徳川家達君) 江木君ニ確メマスガ、議事日程第二十八ノ請願ハ副委員長ノ報告ニ反対ノ御意見ト承知イタシテ宣シウゴザイマスカ

○江木千之君 左様デゴザイマス

○男爵原口兼濟君 贊成

○男爵關義臣君 贊成

○議長(公爵徳川家達君) 贊成ト仰セラルルノハ江木君ノ意見ニ贊成ト云フコトデアリマスカ

○男爵内田正敏君 ハイ

○男爵阪井重季君 私ハ此探擇ノコトニ贊成ヲシタ一人デアリマス、此探擇ノ理由ガ薄弱ナトカ云フコトデゴザイマスレバ免モ角、全ク是ハ贊成シタ理由ハ、請願委員ノ一人デゴザイマスカラ、一人ノ意見ヲ述べマス、成ルホド國庫ノ負擔ニハ是ハ堪ヘ惡イモノデゴザイマセウ、ゴザイマセウガ二千万圓餘ノモノヲ學校ノ教員ニ……他方ニハ之ヲ既ニ二百万圓カラ拂出シテ居ル、斯ウ申スコトデアリマスガ、ソコデ絶對的ニ此教員ノ俸給ヲ國庫カラ出ス出サヌト申ス譯デハナイ、斯ウ云フ一ノ理由ガアリマス、ソコデ又私ハ此係りノ受持デゴザイマセナンダカラシテ、政府委員ニ直接ニハ承リマセヌガ、政府委員ノ意見モ是カラシテ支出ノ途モ出來得ル限りハ二百万圓以上ノモノヲ出ス腹ガアル、斯ウ云フ主意デアルト申スコトデゴザイマス、ソコデ此請願ノ主意モ、全部出シテ吳レト云フコトヲ請願シテ居ルトモ是ハ取レマセウ、又是ハ幾分カ出シテ吳レト云フ、主意ノ幾分ヲ満足サスル趣意ト斯ウモ解釋スレバ取レマセウ、之ヲ全部支給ニナリタイト申スコトデアツテ探擇ト申スコトデアレバ、是ハ二千万圓皆出スト云フコトニナリマセウガ、サウ云フコトガゴザイマセヌカラシテ、今マデ年功加俸ノ二百万餘リノモノヲ支出シテ居タ故ニ、是カラシテ財源ガ出來ルニ從テカラ、三百万四百万モ出ス、追

追皆出ス ト云フコトガ出來ル事柄カ知レマセヌガ、是ナラバ段々金が出來ルニ從ツテカラ金ヲ出セバ擴張ガ出來ルト云フコトデアルカラ、私ハ請願委員ノ一人トシテ出スノニ贊成シタ一人デアリマス、全ク國庫カラ一文モ出テ居ラヌト云フコトデハナイ、斯ウ申シタノデゴザイマス

○議長(公爵徳川家達君) 唯今議長ガ第二十七ヨリ第三十一マデノ請願ヲ問題ニ供シマシタガ、第二十八ノ請願ニ付テ江木君ノ御意見が出マシタ以上バ、第二十八ダケ別ニ採決ヲ致シマス、第二十七、第二十九、第三十、第三十一、是等ノ請願ハ副委員長ノ報告通リデ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、第二十八ノ請願、副委員長ノ報告ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者

○議長(公爵徳川家達君) 暫ク御著席ヲ請ヒマス……江木君ノ御意見即チ副委員長ノ報告ニ反對ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者

○議長(公爵徳川家達君) 江木君ノ御意見ニ同意ノ諸君ノ方ガ少數ト認メマス、故ニ副委員長ノ報告通リニ決シマス、是デ本日ノ議事ハ終リマシタ、明後七日本會ヲ開キマス、議事日程ハ彙報ヲ以テ御通知ニ及ビマス、本日ハ是デ散會ヲ致シマス

午前十一時十八分散會

大正四年六月五日